

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q-1 建築物の環境品質性能			0.40			3.0
Q-1 室内環境						3.0
1 音環境		1.0	0.23			1.0
1.1 騒音		1.0	1.00			
1 騒音レベル		1.0	1.00			
1.2 遮音						
1 開口部遮音性能						
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音						
2 温熱環境		3.1	0.44			3.1
2.1 室温制御		3.2	0.50			
1 室温設定		5.0	0.30			
3 外皮性能		1.0	0.20			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.50			
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境						
3.1 昼光利用						
1 昼光率						
2 方位別開口						
3 昼光利用設備						
3.2 グレア対策						
2 昼光制御						
3.3 照度						
1 照度						
3.4 照明制御						
4 空気質環境		4.5	0.33			4.5
4.1 発生源対策		6.0	0.50			
1 化学物質汚染		6.0	1.00			
4.2 換気	4方から十分な換気が行える	4.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.50			
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.50			
4.3 運用管理	フィットネスクラブ全体 禁煙	4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		5.0	0.50			
Q-2 サービス性能			0.30			2.9
1 機能性		2.2	0.40			2.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60			
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画	ハートビル法の利用円滑化基準を満たしている	3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.40			
1 広さ感・景観						
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画		1.0	1.00			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔		4.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔		4.0	0.29			
2.3 信頼性						
2.4 信頼性		3.0	0.19			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備	10	3.0	0.20			
3 電気設備	40	3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備	30	3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.8	0.29		-	3.8
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		-	
1 階高のゆとり			3.0	-		-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.034 別図3.1.2参照	5.0	1.00		-	
3.2 荷重のゆとり		3159N/m ² 別図3.2参照	3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性			4.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性			5.0	0.22		-	
6 バックアップスペース		配管用スペース無し	3.0	0.22		-	
Q-3 室外環境(敷地内)				0.30		-	3.1
1 生物環境の保全と創出		I-1○、II-1○、III-2◎、IV-1○、V-2○	2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		II-3,4,5,8○	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		III○、IV○	3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温暖環境の向上		2)②◎○、3)①○	3.0	0.50		-	
LR-2 建築物の環境負荷低減性							2.9
LR-1 エネルギー				0.40			3.3
1 建物の熱負荷抑制		117ポイント	3.0	0.30		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		150ポイント	4.0	0.30		-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
LR-2 資源・マテリアル				0.30			2.6
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水		節水FV 自閉式シャワー水栓	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム			3.0	0.67		-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33		-	
2 低環境負荷材			2.5	0.85		-	2.5
2.1 資源の再利用効率			2.3	0.35		-	
1 軽体材料の再利用効率			3.0	0.67		-	
2 非構造材料の再利用効率			1.0	0.33		-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.04		-	
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08		-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18		-	
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18		-	
2.6 フロン・ハロンの回収			2.0	0.18		-	
1 消火剤		対象外				-	
2 断熱材			1.0	0.50		-	
3 冷媒		R410 HFC410	3.0	0.50		-	
LR-3 敷地外環境				0.30			2.8
1 大気汚染防止		蒸気と電機のみ	5.0	0.15		-	5.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			5.0	0.15		-	5.0
2.1 騒音		終日40dB	5.0	0.50		-	
2.2 振動			5.0	0.50		-	
2.3 悪臭		対象外				-	
3 風害、日照阻害の抑制			1.0	0.15		-	1.0
3.1 風害の抑制			1.0	1.00		-	
3.2 日照阻害の抑制		日影規制なし				-	
4 光害の抑制		ガイドラインの過半を満たす、広告塔なし、反射光の発生なし	5.0	0.10		-	5.0
5 温暖環境悪化の改善		3)①○、3)②○、4)②○	1.0	0.30		-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.15		-	2.6
6.1 雨水処理負荷抑制		対象外				-	
6.2 汚水処理負荷抑制		浄化槽処理→ユニチカ工場排水処理→宇治川放流	3.0	0.33		-	
6.3 交通負荷抑制		I-1)○、II-1)-2)○	4.0	0.33		-	
6.4 廃棄物処理負荷			1.0	0.33		-	

■ LR-1 用途別得点表		集会所				面積按分 総合スコア
		3596 m ²				
1	建物の熱負荷抑制	3.0				3.0
3	設備システムの 高効率化	4.0				4.0
	ERRIによる評価					
	個別設備による評価					
3.1	空調設備	-				-
3.2	換気設備	-				-
3.3	照明設備	-				-
3.4	給湯設備	-				-
3.5	昇降機設備	-				-